

スマートシティ 官民連携による脱炭素地域づくり

まちづくり

- 地域脱炭素ロードマップを進める地方自治体の取組みに、民間企業として主体的に参画します。
- 再エネ活用・地域資源の地産地消によって、脱炭素化と同時に地域経済循環を創出します。
- 公共施設のマイクログリッド構築で災害時のレジリエンスを強化します。

◆ 取組概要

取組背景	■ パリ協定をはじめ、「2050年カーボンニュートラル宣言」などの温暖化対策の政策や法改正などの動きが加速化しています。 ■ 「2050年カーボンニュートラル」実現には地域脱炭素化が欠かせず、そのための再エネ導入の促進など、国の支援策の活用チャンスがあります。 ■ 脱炭素化に力を入れている地方自治体と、「2030年CO₂ネットゼロ」を目標とする当社の方向性が一致。 ■ 他地域に先駆けた官民連携の脱炭素化推進事業体を作り、次世代により良い環境を伝えることと、地域の経済活性化の実現を目指します。
事業概要	■ 太陽光発電等の再エネ発電設備、自営線、大型蓄電池、EMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入し、公共施設を繋ぐマイクログリッドを構築します。 ■ 環境省補助事業や交付金等を活用し、コストを抑えて設備を導入します。 ■ 官民共同事業体がマイクログリッドを整備・保有・運営し、公共施設に再エネ電力を供給します。 ■ 大型蓄電池により、太陽光発電の不安定性の解決と、災害時のレジリエンス強化を実現します。
今後予定	■ マイクログリッド事業の収益を更なる脱炭素化の取組みに再投資し、地域脱炭素ロードマップを推進します。 ■ 産・学・官の包括連携協定により、更なる脱炭素化に向けた開発・研究・地域人材育成・イノベーション創出を目指します。

◆ 官民連携協定

■ 福岡県大木町との連携事項（包括連携協定）

- ・ 脱炭素社会の実現
- ・ 再エネ設備、熱利用設備、基盤インフラ等の導入・活用
- ・ 省CO₂設備の導入・整備
- ・ 地域レジリエンス向上
- ・ 地方創生・少子高齢化対策に資する仕組みの構築

■ 島根県松江市との連携事項（人材派遣協定）

- ・ 脱炭素先行地域の計画推進
 - ・ 地域のカーボンニュートラルの推進
 - ・ 地域課題の解決
- ※2023年11月から2025年3月まで、企業版ふるさと納税(人材派遣型)により松江市に人財を派遣。

◆ マイクログリッドのシステム (例)



◆ レジリエンス強化

